



中央西まちづくり

～みんなを集めて楽しいまちづくりを～

かわら版

8号

2022. 2月

【発行】

中央西まちづくり推進委員会
広報・魅力アップ分科会

中央西まちづくり人紹介

中央西地域に在住のまち人を紹介します！

今回紹介するのは、和知川原二丁目にお住まいの**野元 郁雄**（のもといくお）さん（90歳）です。

野元さんは、小学3年生から書道を習い始め、90歳の現在も書き続けています。雅号は「**野元暁峰**（のもしょうほう）」さんです。

教員だった野元さんは、「宮崎県教職員互助会美術展」に、第1回から第44回（令和3年度）まで全て出品しているそうです。第44回の作品は、「**気韻生動**（きいんせいどう）」（風雅で趣があり、生き生きしていること）。『書の趣を味わいながらのびのびと自由に書いてみました』とおっしゃっていました。

今、「千字文（せんじもん）の詩句」（人類の未来に希望と勇気を与える）を毎朝5時に起きて、学習しているそうです。千字文とは、子どもに漢字を教えたり、書の手本として使われた漢文で、4字を1句とする250の短句からなる韻文のことだと教えていただきました。

階段もスイスイと上がる野元さんの健康の秘訣は、『玄米を毎日食べること』と教えていただきました。



第44回教美展 野元さんと作品



野元さんが書かれた千字文

活動の報告



ストリートウォッチング

地域の危険箇所や災害時の避難施設を調べる「ストリートウォッチング」（今年で11回目）を11月30日と12月2日に実施しました。西池小5年生児童、宮崎公立大学ネットワーク研究室、そして中央西まちづくり推進委員会との合同で115人が参加しました。

ご協力をいただいた中央西地区の訪問施設や地域ボランティアの皆さま、ありがとうございました。MRTテレビ・宮日新聞でも紹介されました。生活安全部会

わんぱく広場

祇園運動広場で、「わんぱく広場」を12月5日に開催しました。

ミニSL乗車体験、さんさんクラブ昔の遊びコーナー、南九州大学食品開発科学科のコーナーが設けられ、小学生ら122人が参加しました。

ミニSLに乗車したり、昔遊びの竹とんぼ、あやとり、けん玉などで楽しんだり、野菜や水を使って実験をしたり、みんな興味津々でした。

子ども育成部会



寄せ植え・花かご講座

西地区交流センターで、「寄せ植え・花かご講座」を12月26日に開催しました。午前の部15人、午後の部15人が参加し、講師の新名先生に教えていただきながら、各々のプランターに寄せ植えを行いました。

寒さに強い花9種類で、それぞれ違った素敵な花かご30個が出来上がりました。皆さんも是非ご家庭で花のある暮らしを楽しんでみませんか。

地域振興部会

避難所運営ゲーム(HUG)

宮崎西中学校で、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験する避難所(H)運営(U)ゲーム

(G)を1月6日に開催しました。生徒・職員22人が参加し、講師は矢野生活安全部会長が務めました。

最初のうちは、初めての体験に戸惑っていた生徒たちでしたが、『中学生の自分に何ができるか』を考えるきっかけになったようです。

生活安全部会

※令和4年2月、3月のイベントはありません。

中西まち子の

よもやま話

～堤防沿いの桜並木～



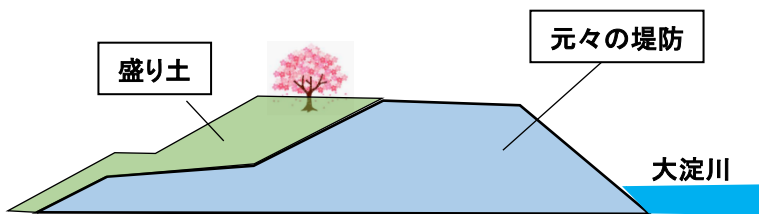
大淀川堤防沿いの平和台大橋から市役所にかけての桜並木は「**何本の桜**」が植えてあるのかご存知でしょうか？



大淀川の平和台大橋から市役所にかけての桜並木はきれいですよね。でも、年配の方々に聞くと、「桜なんて1本も無かったよ」とのこと。そこで、宮崎市公園緑地課の協力のもと、目的や経緯について調査しました。

公園緑地課の皆さん、ご協力ありがとうございました。

この桜並木は、国が推進する「桜の名所づくり」の補助金を受け、宮崎市が「**大淀川桜の名所づくり整備事業**」として平成元年から平成10年にかけて植樹したものだそうです。



植樹は、市役所側から平和台大橋にかけて行われ**285**本の桜が植えられています。また、桜だけではなく、ベンチやトイレなども設置され、市民の憩いの場として親しまれています。

ちなみに、平和台大橋が完成したのは平成9年4月です。

植栽時には、もともとの堤防に盛り土を行いました。この盛り土は、出水時に使用するための水防用の土砂備蓄としての役割も担っており、大淀川の水防活動に利用され、被害の軽減に寄与するそうです。

【お問合せ】 中央西まちづくり推進委員会 事務局

〒880-0024 宮崎市祇園1丁目49番地 宮崎西地区交流センター内 TEL/FAX 69-0507